

つり環境ビジョンコンセプトに基づく  
**LOVE BLUE**  
**事業報告書**  
**2019年度**

～全国に広がる感謝の輪～

**LOVE**  
**BLUE**

地球の未来を

つり環境ビジョン

# つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業 ～活動理念～

私たちの考える「LOVE BLUE ~地球の未来を~」とは、持続可能な釣り環境を構築するために、釣りにかかわるのすべての人々が、共通の想いをもって発信する未来に向けた理念です。海や川に囲まれ、水に恵まれた国、日本。日本の釣り文化は、世界的に見ても群を抜いて高度であり、とても魅力的です。だからこそ私たちは、「釣りで自然を汚さない」から「釣りが自然を再生させる一助になる」ように環境への意識をさらに高め、世界に誇る「水辺の環境保全」を志向する社会貢献事業の実施を目指してまいりたいと考えています。

「LOVE BLUE ~地球の未来を~」をスローガンに、まずは、「環境保全」と「資源回復」を両軸に、「水辺をキレイに」「サカナを増やそう」「フィールドを広げよう」を3つの優先事項とし活動してまいります。

# LOVE BLUE 事業報告書 2019 年度

## ～全国に広がる感謝の輪～

### 目次

I (一社) 日本釣用工業会 2019 年度事業報告

II (公財) 日本釣振興会 2019 年度事業報告

III 参加企業

IV 2019 年度事業収支報告書

巻末 松下和夫 京都大学名誉教授

# 釣りフェスティバル 2020 in YOKOHAMA

2020年1月17日開催の釣りフェスティバル  
2020では釣り業界で取り組むLOVE BLUE事業  
を広く一般にご紹介するため、(一社)日本釣用品  
工業会 島野容三 会長並びに(公財)日本釣振興会  
高宮俊諦 会長をはじめご来賓の皆様や未来を担う  
子供たちと共に、放流式典を実施致しました。



釣りフェスティバル

# にて放流式典を開催（3年度目）



の会場である神奈川県横浜市のパシフィコ横浜に隣接する臨港パーク及び、大黒海づり施設に、合計 5,000 尾のカサゴを放流しました。

I



# (一社) 日本釣用品工業会 2019年度事業報告

- ・ LOVE BLUE TOPICS
- ・ 水中クリーンアップ活動
- ・ 地球環境基金企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成
- ・ 専門機関と連携した放流事業
- ・ 水産庁後援 内水面釣り場拡大事業 (ワカサギ)

# LOVE BLUE TOPICS

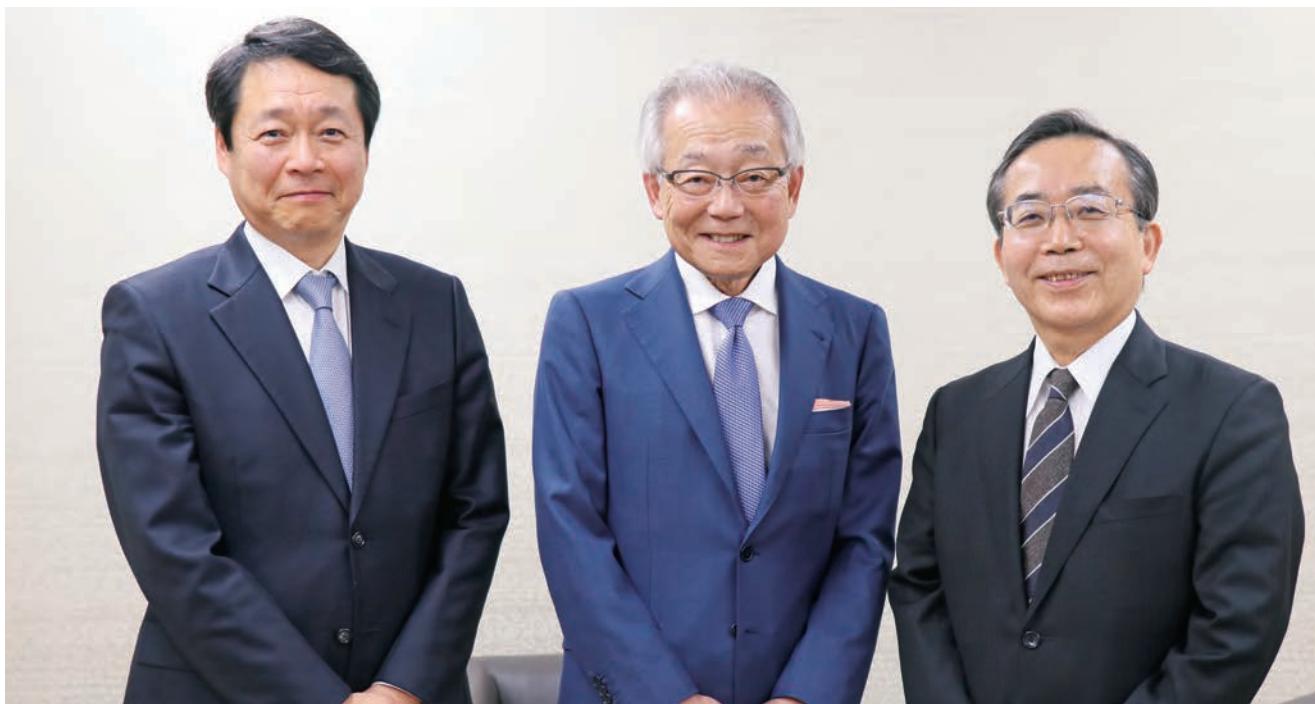
## 環境系トップリーダーとの 対話スタート

2019年12月12日

2019年12月12日(木)、水辺の環境保全活動を社会貢献事業として釣り界を挙げて取り組む、つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業の周知広報の一環として、独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金 小辻智之 理事長と京都大学 松下和夫 名誉教授と一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三 会長による「LOVE BLUE 世界に誇れる水辺環境の保全」とのテーマでの対話が行われました。

今回、国内最大の環境系基金のトップ小辻智之理事長と我が国の環境政策に長く携わっている松下和夫京都大学名誉教授と、一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三 会長を結び付たのは「地球環境基金 企業協働プロジェクト第1号 LOVE BLUE 助成」の取組です。

これまで2015年から全国各地で累計48団体の水辺の環境保全活動を中心に取り組むNPO・NGOを釣り人・釣り界が地球環境基金のLOVE BLUE助成を通じて支援させて頂いてきました。



(左から:独立行政法人環境再生保全機構 小辻智之 理事長、一般社団法人日本釣用品工業会 島野容三 会長、京都大学 松下和夫 名誉教授)



独立行政法人環境再生保全機構  
小辻智之 理事長  
釣り人の熱い思いを受け止め有効に使つていかなければならぬ



一般社団法人日本釣用品工業会  
島野容三 会長  
地球の恵みを最大限に生かすのが釣りだからこそ、地球に恩返しをしたい



京都大学  
松下和夫 名誉教授  
LOVE BLUE助成はまさに今、世界が求めている「具体的な行動」

# LOVE BLUE TOPICS

## 原田義昭 環境大臣（当時）へ 表敬訪問

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業では、6月20日（木）に G20 持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合（6月15日～16日：長野県・軽井沢町：参加20か国・招聘6か国・招聘16国際機関）で議長を務め、新たな枠組みを創設した、原田義昭 環境大臣へ事業実施へご協力をいただいていることへのお礼、これまでの実績等をご報告するため、島野容三 会長、大村一仁 副会長、松下和夫 理事（京都大学名誉教授）、小島忠雄 顧問らが環境大臣室にて表敬訪問を行いました。



左から：大村一仁 副会長、松下和夫 理事、原田義昭 環境大臣（当時）、島野容三 会長、小島忠雄 顧問、小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事

原田環境大臣 表敬訪問

出席：島野容三 会長 / 大村一仁 副会長 / 小島忠雄 顧問 /  
松下和夫 理事 / 小松智昭 専務理事 / 柿沼清英 理事

2019年6月20日(木)環境大臣室

表敬訪問冒頭、原田大臣より「ようこそいらっしゃいました」との歓待の挨拶があり、これを受け、島野会長からは「エネルギー・環境関係閣僚会合を終えられたばかりで、G20直前という大変お忙しい中、お時間を頂戴致しましてありがとうございます。」との挨拶のあと、出席メンバーから、釣り界全体で取り組む LOVE BLUE 事業について、地球規模で取り組みが進む海洋環境保全活動や、我が国の環境政策との一体性を軸に活動報告がなされました。

原田 環境大臣からは、2013年度から7年目となる、全国各地の水辺の環境保全に取り組む当事業の実績に対して「国内全体へ、細やかに取り組まれている、素晴らしい事業ですね」と評価いただきました。

また、当事業と環境省の関係では、(独法) 環境再生保全機構・地球環境基金 企業協働プロジェクト第一号として創設され、2015年に望月義夫 環境大臣(当時)からも感謝状をいただいた「LOVE BLUE 助成」が、全国各地で水辺の地球環境保全に取り組むNGO・NPOなどを支援していることについて、改めて感謝の言葉をいただきました。



## LOVE BLUE TOPICS

### 政府主催「海の日行事“海と日本プロジェクト”」

#### 総合開会式に正式招待（2回目）

2019年7月15日

2019年7月15日社会貢献事業として進めるLOVE BLUE事業として、「海の日」を記念する行事“海と日本プロジェクト”の式典・祝賀会へ、当工業会が招待を頂きました。

主催者である内閣府総合海洋政策本部や国土交通省、(公財)日本財団からの挨拶がありました。国土交通省海事行政関係者や政府関係者の皆様へ、今後の関係性の深化を図る為、本事業の事業報告を行って参りました。



左から、国土交通省 海事局長 大坪 慎一郎 局長（当時）・柿沼 清英 理事  
国土交通省 総合政策局長 蒲生篤実 局長（当時）

## LOVE BLUE TOPICS

### 環境省主催 エコライフ・フェアに出展（6回目）

2019年6月2日～3日

LOVE BLUE 事業は、毎年環境の日（6月5日）の近辺の土曜日及び日曜日に東京都渋谷区の代々木公園にて、環境省が主催する、エコライフ・フェアに2015年から毎年出展しています。環境への関心の高い来場者や環境保全に取り組む企業や団体の皆様へ水辺の環境保全を志向するLOVE BLUE 事業が取り組む、社会貢献活動のPRを行い、また関係を構築しています。

本年度は、「つりの楽しさが広がることで水辺環境の向上につながります」をテーマに、これまでの社会貢献活動としての実績をPRしました。



右から、小島忠雄 顧問・千葉県立一宮商業高等学校 田中 善洋教諭・  
千葉県立一宮商業高等学校生徒さん・柿沼 清英 理事



左:独立行政法人環境再生保全機構 小辻智之理事長  
右:原田義昭環境大臣（当時）

## LOVE BLUE TOPICS

### 沖縄クリーンコーストネットワーク（OCCN）

### まるごと沖縄クリーンビーチとの連携（6回目）

2019年6月1日～3日

2019年6月1日から3日まで沖縄県名護市名護漁港で行われたプロダイバー水中クリーンアップ活動は、第11管区海上保安本部に事務局がある沖縄クリーンコーストネットワーク（OCCN）が主催する沖縄県下一斎清掃「まるごと沖縄クリーンビーチ」と連携して実施いたしました。



# LOVE BLUE TOPICS

## 2019年度までの表敬訪問

### 環境省 小林正明 環境事務次官（当時）へ 2017年1月20日訪問

LOVE BLUE 事業が取り組む社会貢献事業について、これまで積み重ねてきた実績等をご説明するため、2017年1月20日金曜日、環境省へ表敬訪問を行いました。

島野会長より、「当初は釣り場の清掃から始めた事業ですが、今ではLOVE BLUE 事業として、例えば 全国の各自治体を通じて、各地の皆様からプロダイバーによる水中クリーンアップへのご要望をお寄せ 頂けるようになるなど、多くの皆様に喜んで頂ける社会貢献事業となって参りました。昨年（2016年）のG7伊勢志摩サミットでもプロダイバーによる水中クリーンアップ活動をお役立て頂くなど、様々なご要望にお応えしております。LOVE BLUE 事業は、参加企業が全ての釣用品に『環境・美化マーク』を表示し、その売り上げの一部を自主財源として取り組んでいるものです。これからも御省と連携しながら地球環境のためにより一層努めて参りたいと思います。」と当事業について説明を行いました。



### 環境省 環境大臣からの感謝状授与 2015年6月16日訪問

参加企業の皆様のご理解とご協力、そして釣り人の 皆様一人一人の力を合わせて展開する LOVE BLUE 事業は、2015年度、新たに本事業の一環として、独立行政法人環境再生保全機構と連携し、同機構による「地球環境基金 企業協働プロジェクト」の第1号「つり環境ビジョン助成（当時）」をスタートさせました。

この事業は、日本国内で水辺の環境保全活動等を行う NPO・NGO 等の団体に対し、その活動を支援する為の助成で、2015年度は、全国8団体を支援しました。上記の事業を踏まえた、つり環境ビジョン助成の環境保全活動に対し、「環境の日」である2015年6月5日付にて、環境大臣より感謝状をだされ、そして6月10日（水）、LOVE BLUE 委員会小島忠雄委員長が代表して、環境省を訪問し環境省総合環境政策局 小林正明 局長（当時）より授与されました。



### 茨城県 大井川和彦 知事へ 2018年9月28日訪問

第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦 2018 10月15日～10月19日）の開催を前に、釣り界が取り組む、LOVE BLUE 事業へのご理解とご協力の御礼と、世界湖沼会議での LOVE BLUE 事業の活動報告の機会を頂いたこと、並びに今後一層、茨城県内での LOVE BLUE 事業の推進をお伝えするため、（一社）日本釣用品工業会の代表が、大井川和彦 茨城県知事へ表敬訪問致しました。

大井川和彦 知事からは、「社会貢献事業として取り組まれている、LOVE BLUE 事業、水中クリーンアップ活動、本当にありがとうございます。素晴らしい事業です！引き続き宜しくお願いします。」との御礼のお言葉をいただきました。さらに、霞ヶ浦の水質浄化や地域経済の発展など様々な話題で、終始和やかな懇談の場となりました。



## 三重県鳥羽市 木田久主一 市長へ 2016年5月19日訪問

2016年5月19日、G7伊勢志摩サミットまであと7日となった、三重県鳥羽市・鳥羽市役所本庁舎内、鳥羽市長室へ、島野容三会長が表敬訪問しました。

### G7伊勢志摩サミットへ連なる LOVE BLUE 事業の「格」

島野会長：サミット前の大変お忙しい時期にお時間を頂きありがとうございます。あらためまして、市長直々のお声かけで、鳥羽港の清掃の機会を頂戴し、さらには、G7伊勢志摩サミットへのおもてなし大作戦に加えて頂くことができまして、我々といたしましては、これまでLOVE BLUE事業として取り組んで参りました社会貢献活動に、ひとつの大きな「格」をつけて頂くことになりました。これまでのご配慮に心から御礼を申し上げます。



### 釣りに対するイメージが大きく変わる

木田市長（以下市長）：こちらから御礼のごあいさつに伺うべきところ、鳥羽市へお運び頂き、ありがとうございます。鳥羽は海女と真珠のふるさとです。私たちが大切にしている海をきれいにして頂いていることに心から感謝申し上げます。

市長：多くの企業が志を同じくして参加されていることが本当に素晴らしい。釣りに対するイメージが大きく変わってくると思います。

## 千葉県南房総市 石井裕 市長へ 2016年4月18日訪問

### LOVE BLUE 事業を評価

LOVE BLUE事業は社会貢献事業として取り組むプロダイバーによる水中クリーンアップ活動について、2016年4月18日金曜日、千葉県南房総市 石井裕市長へこれまでの活動への理解と協力に対して、表敬訪問を行いました。

小島委員長：水中クリーンアップ活動の他にも、昨年度から「つり環境ビジョン助成」という活動を始めています。これは独立行政法人環境再生保全機構における地球環境基金企業協働プロジェクト第1号として始まったもので、水辺の環境保全を考えるNPOなど諸団体を全国規模で支援するものです。昨年度は、8団体を助成いたしました。その活動を評価頂き、環境大臣から感謝状を授与されました。



石井市長：それはすごいですね。さまざまな活動をされている中で、私たちの南房総市を水中クリーンアップ活動の場として選んで頂いてうれしく思っています。水の中は自分たちでは、なかなか清掃できないので、プロのダイバーの方々に水中を清掃頂けるのは、とてもありがとうございます。

## 茨城県龍ヶ崎市 中山一生 市長へ 2017年5月12日訪問

LOVE BLUE事業は社会貢献事業として取り組むプロダイバーによる水中クリーンアップ活動について、2017年5月12日金曜日、茨城県龍ヶ崎市 中山一生市長へこれまでの活動への理解と協力に対して、表敬訪問を行いました。

中山市長：「我々龍ヶ崎市はもちろんですけれども、LOVE BLUE事業は全国きっと喜ばれる事業だと思いますので、是非頑張って頂ければ、皆さんも喜ばれると思いますので、牛久沼も含めてよろしくお願ひします。『LOVE BLUE』っていうのが良いですよね。さわやかな清冽なイメージで。今日は、かえってご丁寧にご来訪頂きましてありがとうございました。」



小島委員長：「こちらこそ貴重なお時間を頂きありがとうございました。これからも茨城県下を含め頑張って参りますので、ご指導の程、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。」

# 水中クリーンアップ活動

# 全国に広がる感謝の輪

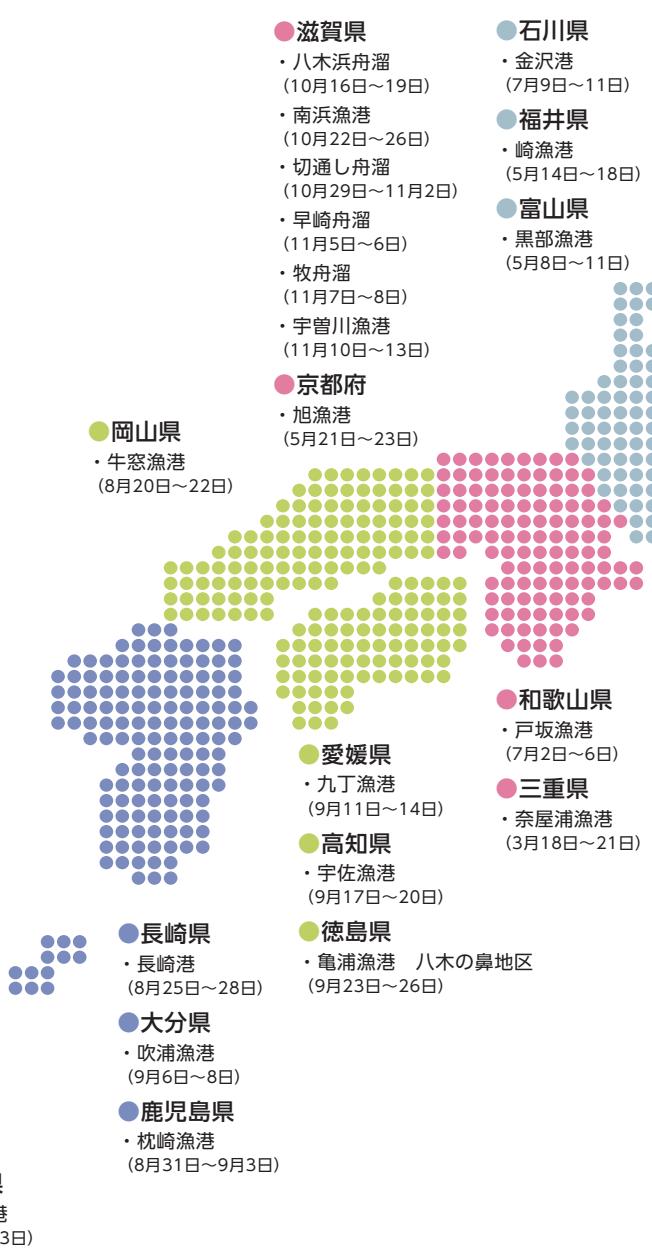
私たち釣り人は世界中の水辺から恩恵を授かっている社会の一員です。その豊かな水辺を守る活動の柱としての取組が、プロダイバーによる水中クリーンアップ活動です。

LOVE BLUEでは全国を7ブロックに分け、公平性や透明性等を踏まえ、都道府県や市町村、港湾管理者、漁業者等の皆様からご要望を頂きながら実施しています。

効率の良い作業や安全性の為、プロダイバーが実施する水中クリーンアップ活動では、陸上スタッフと常時無線交信設備を装備しながら、万全の安全管理を徹底しながら作業をしています。また、必要に応じて、法令に基づいた許可申請や周知等、地域のご関係先としっかりと連携しながら進歩し、回収したゴミは産業廃棄物として適切に処分しています。

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は2013年度の事業開始より2019年度に至るまで、7年間累計34都道府県229箇所899日実施しています。

ブロック	都道府県	場所	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
			箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
<中部・北陸地方：20日>			1	3	5	22.5	6	20	5	17	5	22	4	18	4	17
中部・北陸	愛知県	三河湖 入鹿池	1	3			1	5	1	5	1	5	1	3		
	富山県	六度寺海岸 黒部漁港			1	4	1	3	1	3			1	5	1	5
	石川県	名舟漁港 富来漁港 安宅漁港 前波漁港 金沢港			1	3.5	1	3					1	5	1	4
	福井県	東尋坊・崎漁港			1	5	1	3	1	3			1	5	1	5
	岐阜県	長良川 東大江川					1	3	1	3			1	3	1	5
	<中国・四国地方：15日>			0	0	5	23	5	15	5	17	5	14	4	14	4
中国・四国	香川県	松山漁港 土庄港 要望箇所			1	5			1	3						
	徳島県	那佐港 由岐漁港 日和佐港 椿泊漁港 龜浦漁港（八木の鼻地区）			1	3			1	3	1	3				
	愛媛県	佐田岬漁港 三机港 松山港（高浜地区） 九丁漁港 鳥取県 境港 高知県 宇佐漁港 岡山県 牛窓港			1	5	1	3	1	3	1	3			1	4
					1	5	1	3	1	3	1	3			1	4
					1	5	1	3	1	3	1	2			1	4
															1	4
															1	4
															1	4
<九州・沖縄地方：15日>			0	0	5	25	5	16	5	21	5	15	4	14	4	14
九州・沖縄	佐賀県	唐津港 伊万里港			1	5	1	3			1	3	1	3		
	長崎県	館浦漁港 薄香湾漁港 生月漁港 長崎港			1	5	1	3			1	3	1	3		
	熊本県	八代港			1	5	1	3					1	4	1	4
	沖縄県	名護漁港 別府港			1	5	1	5	1	5	1	3	1	3	1	3
	大分県	吹浦漁港											1	3	1	3
	鹿児島県	山川漁港 枕崎漁港							1	5			1	3	1	4
													1	3	1	4
														1	3	1



## 2019年度プロダイバー 水中クリーンアップ活動地域マップ



ブロック	都道府県	場所	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日	箇所	日
<北海道:15日>									
北海道	道央	小樽港	0	0	3	15	3	15	4
		浜益漁港		1	5	1	5	1	3
		濃屋漁港				1	2		
		厚田漁港	1	5	1	5	1	5	
		浜益地区(幌漁港)				1	2		
		浜益地区(群別漁港)				1	3		
		古平漁港						1	5
		美國漁港						1	5
	道東	十勝港北区	1	5	1	5	1	5	1
						1	5	1	4
<東北地方:10日>									
東北	岩手県	岩洞湖	0	0	7	24	4	14	3
		能代港		1	5				
	秋田県	米代川	1	1	1	1	1		
		酒田港	1	4.5	1	5			
		加茂港	1	3.5					
		鼠ヶ関港	1	4.5	1	3	1	5	4
		由良漁港						1	5
		仙台塙釜港	1	3.5	1	5	1	5	
	宮城県	長沼						1	4
		石巻漁港①							1
		石巻漁港②							4
	青森県	三沢市高瀬川放水路			1	5	1	3	
<関東地方:35日>									
関東	群馬県	榛名湖	2	9	9	27	9	35	8
	栃木県	東古屋湖	1	5	1	5			1
		土浦市(霞ヶ浦)	1	4	1	1			1
		美浦村(霞ヶ浦)		1	4	1	3		1
		阿見町(霞ヶ浦)	1	3	1	5			
		かすみがうら市(霞ヶ浦)			1	1			
		土浦市(霞ヶ浦大石船泊)							
		茨城町(涸沼)	1	2	1	2	1	1	1
		土浦市土浦港(霞ヶ浦)							
		鹿嶋市(北浦額賀船溜)							
		龍ヶ崎市(牛久沼)			1	4	1	5	
		牛久市(牛久沼)					1	5	1
		稻敷市(霞ヶ浦)						1	5
		興津港	1	1					
		野島漁港	1	1					
		富浦漁港	1	5	1	5	1	5	
		乙浜漁港	1	5	1	5	1	5	
		白間津漁港							1
		七浦漁港						5	1
		茅ヶ崎漁港		1	5	1	5		3
		平塚漁港本港		1	5	1	5	1	5
		平塚漁港新港							3
		片瀬漁港			1	5	1	5	
		大磯港					1	5	
		腰越漁港							3
		荒川舟溜り							4
		荒川							1
<近畿地方:35日>									
近畿	滋賀県	吉川港(琵琶湖)	1	5	7	31.5	7	35	7
		早崎漁港(琵琶湖)	1	5		1.5			
		八木浜溜(琵琶湖)		1	2				4
		南浜漁港(琵琶湖)	1	5					5
		朝妻港(琵琶湖)	1	5					
		能登川漁港(琵琶湖)	1	5					
		木浜漁港(琵琶湖)	1	5					
		北山田漁港(琵琶湖)			1	5			
		知内漁港(琵琶湖)		1	5				
		志那漁港(琵琶湖)		1	5				
		堅田漁港(琵琶湖)		1	5				
		長命寺漁港(琵琶湖)	1	5					
		大瀧漁港(琵琶湖)	1	5					
		宇曾川漁港(琵琶湖)			1	5			
		出在家舟溜(琵琶湖)			1	5			
		沖之島漁港(琵琶湖)			1	5			
		牧舟溜(琵琶湖)			1	4			
		野村舟溜(琵琶湖)			1	4			
		針工大川舟溜(新舟溜)(琵琶湖)			2	3			
		瀬田舟溜			1	4			
		海津漁港					1	5	
		膳所港					5		
		切通し舟溜						5	
	三重県	鳥羽港			1	10	1	5	
		熊野二木島港				1	5		
		尾鷲港					1	5	
		奈屋浦漁港							4
	京都府	宮津港					1	5	1
		旭漁港						5	3
	和歌山県	戸阪漁港・シモツビアーランド					2	5	1

全国36箇所 133日実施 (累計 899日実施)

**Voice**

# 水中クリーンアップ活動

## ～水中クリーンアップ活動を通じた感謝の声～

宮城県 水産林政部 全国豊かな海づくり大会推進室 技術主査 鈴木隆史さん

令和2年開催

第40回全国豊かな海づくり大会～食材大国みやぎ大会～

協賛事業として水中クリーンアップ活動を実施！



2019年10月5～8日に宮城県石巻市石巻漁港にて実施した水中クリーンアップ活動が、同漁港にて開催される「第40回全国豊かな海づくり大会～食材大国みやぎ大会」の協賛行事としてご承認いただきました。令和2年開催に向けて、令和元年のプレイベントから実施をしていただきたいと宮城県全国豊かな海づくり推進室からご要望をいただき、実施致しました。ご要望元の宮城県全国豊かな海づくり推進室からは「私たちでは水中のごみに手を付けることが出来ませんでしたが、今回実施していただき、とても感謝しております。本番は来年になりますが、是非、よろしくお願いします！」と感謝のお言葉をいただきました。

社会貢献事業として取り組む、水中クリーンアップ活動へご理解いただき、私たちの活躍の場をいただきました。全国豊かな海づくり大会との連携は2016年に山形で開催された第36回大会、2017年に高知県で開催された第38回大会に続いて3回目となりました。暖かくお迎えいただいています。イベントにご参加の皆様からも、水中クリーンアップ活動に高いご関心をお寄せいただき、「ダイバーの皆さん、頑張ってください！」と励ましのお言葉をいただきました。



## クリーンアップ ひぬまネットワーク 谷萩八重子さん

2019年7月13日(土)、「2019年度ひぬま流域クリーン作戦」と連携して、茨城町涸沼にて水中クリーンアップ活動を実施!



クリーンアップ  
ひぬまネットワーク

谷萩八重子 会長

2015年に、貴重な湿地や固有種等が生息する場所として「ラムサール条約登録湿地」となった茨城県涸沼。例年、海の日前後に、流域市町が連携して実施している陸上清掃イベント「ひぬま流域クリーン作戦」では、クリーンアップひぬまネットワーク事務局よりご要望頂き、LOVE BLUE事業の水中クリーンアップ活動も連携して実施しています。

同ネットワーク・谷萩八重子会長からは「私たちでは出来なかった水中の清掃をLOVE BLUE事業が取り組んでいただけおかげで、涸沼はラムサール登録湿地となれました。本当に感謝しております。ありがとうございます!」とのお言葉をいただきました。

また、同湖を所管する大涸沼漁業協同組合の坂本勉組合長からも「いつも本当に助かっております。これからも涸沼の水中クリーンアップ活動を是非よろしくお願いします!」と感謝のお言葉をいただきました。



## 地球環境基金企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成

# 全国に広がる感謝の輪

### 地球環境基金企業協働プロジェクト・ LOVE BLUE 助成とは

地球環境基金（詳細下段）が行う支援活動の中で、特定の活動に対して支援したい寄付者の「想い」を反映させえたプログラムです。地球環境基金のビジョン・ミッションの範囲の中で、助成対象・分野・金額に独自性があり、選考には、寄付者の「想い」が反映されます。

LOVE BLUE 助成は、(一社)日本釣用品工業会より寄付された資金によるものであり、清掃活動など、水辺の環境を構築するための助成金となっております。

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金とは環境庁（現・環境省）が中心となって、民間団体（NGO・NPO）による環境保全活動への資金の助成その他の支援を行うため、1993年5月に創設されました。

1993年度から2019年度までに延べ5065件、総額167億円の助成を行うなど、NGO・NPO等が行う環境保全活動を積極的に支援しています。

### LOVE BLUE助成団体

#### 2015年度

香川県	NPO アーキペラゴ
群馬県	NPO 浅間・吾妻エコツーリズム協会
東京都	NPO 荒川クリーンエイド・フォーラム
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
香川県	海守さぬき会
東京都	(一社) JEAN
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPO ワールドオーシャンズデイ

#### 2016年度

島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
広島県	NPO 自然環境ネットワークSAREN
石川県	NPO 能登半島おらっしゃの里山里海
鹿児島県	誇れるふるさとネットワーク
神奈川県	NPO ワールドオーシャンズデイ

#### 2017年度

島根県	NPO アンダンテ 21
岐阜県	NPO いびがわミズみずエコステーション
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
石川県	NPO 能登半島おらっしゃの里山里海
福岡県	(一社) ふくおかFUN
山梨県	NPO 未来の荒川をつくる会
長崎県	やったろうde高島

#### 2018年度

沖縄県	美ら海振興会
島根県	NPO アンダンテ21
鹿児島県	くすの木自然館
岡山県	NPO グリーンパートナーおかやま
山形県	NPO 公益のふるさと創り鶴岡
兵庫県	神戸海さくら
熊本県	次世代のためにがんばろ会
東京都	全国川ごみネットワーク
石川県	NPO 能登半島おらっしゃの里山里海
福岡県	(一社) ふくおかFUN
山梨県	NPO 未来の荒川をつくる会
長崎県	やったろうde高島

#### 2019年度

東京都	全国川ごみネットワーク
兵庫県	NPO神戸海さくら
福岡県	(一社) ふくおかFUN
山梨県	NPO未来の荒川をつくる会
熊本県	次世代のためにがんばろ会
鹿児島県	NPOくすの木自然館
長崎県	やったろうde高島
福岡県	宗像フェスCSR推進実行委員会
埼玉県	NPOジョイライフさやま
山形県	NPOパートナーシップオフィス
宮城県	(公財) みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
石川県	NPO能登半島おらっしゃ里山里海

地球環境基金企業協働プロジェクト LOVE BLUE 助成

# LOVE BLUE 助成を受けた各団体代表者からの感謝の声

釣りフェスティバル2020 in YOKOHAMA  
のメインステージ発表を終えて

やったろう de 高島

**LOVE BLUE 助成によってスタッフの意識が大きく変わりました。**

小村秀蔵さん：LOVE BLUE 助成では3年間お世話になりました。本当にありがとうございました！3年間LOVE BLUE 助成を受けてうちのスタッフの意識が変わりました。あれは大きいと思います。正直、海をごみ箱みたいな感じに考えている人が、実はとんでもないと。海はごみ箱じゃないということに目覚めてきた。それを海の中、そして海浜も、お客様が掃除するのを見て、完全に意識が変わりましたね。スタッフの意識が変わったことで、活動するにあたり、参加頂いた方に対する姿勢や熱意が出てきて、より良い活動が実施できたと思います。これまでの活動を無駄にせず、さらに発展させていければと考えております。



やったろう de 高島 事務局 小村秀蔵さん

宗像フェス CSR 推進実行委員会

**LOVE BLUE 助成を受けて、  
活動の幅を広げることが出来ました。**

浜田修一さん：LOVE BLUE 助成は今年が初めてだったのですが、助成を受けたことで活動の幅を広げることが出来ました。そのことで地元

だけが盛り上がっているイベントではないと認められてきました。まだまだ、小さな団体の小さな活動ですが、今後もより多くの方に参加頂けるよう工夫をして、もっと海をキレイにしていきたいと思います。



宗像フェスCSR推進実行委員会 実行委員長 浜田修一さん

NPO ジョイライフさやま

**LOVE BLUE 助成を受けて、  
活動の内容を濃くすることが出来ました！**

久保田慎三郎さん：LOVE BLUE 助成を1年間受けてみて、今までの活動よりも内容が濃くなり素晴らしい活動が出来ました！本当にありがとうございました！私たちは川での活動をしているので、今後は海にはない川の醍醐味というものを多くの方に伝えていける活動を行っていきたいと考えています。



左：NPO ジョイライフさやま 代表理事 久保田慎三郎さん

## Voice

### NPO パートナーシップオフィス 山形県だけでなく全国に広がる活動を していきたいと思います！

荒木涼さん：今年度から小学校とかに海のごみについてのお話に行ったり、そういったところで活動の幅を広げていけたというのはそういったLOVE BLUE 助成の力があってこそかなと感じていて、こういった活動をやる上でそういった事実というか、そういう問題を社会に広めていくというのは大切なことだと思うので、非常に助かりました。海岸から出るごみというのが、内陸のほうから、川を通してごみが流れて海ごみになっているというお話を聞くので、今後、内陸の地域に住んでいる方もたくさんいらっしゃるので、そういう方々にも、海ごみ問題は沿岸部の問題だけじゃないというのを知っていただきたいなと思いました。今後は一人一人が考える問題などもあると思うので、情報を発信していくことと、パートナーシップオフィスの活動というのは学生さんメインで行ってきてはいたんですけど、学生さんの活動に興味を持っている地域の方々とか小学校の先生方とかもいっぱいいらっしゃるので、地域をつなぐ一つのきっかけになるんじゃないかなと思います。小さなきっかけなのかもしれないんですけど、海ごみを通して地域のつながりのきっかけにできたらいいなと思います。



左:NPO パートナーシップオフィス 事務局 荒木涼さん

### 全国川ごみネットワーク 川を通じて一人一人の意識を変えます！

伊藤浩子さん：川を通じて一人一人が考えてくれたらと思っています。海ごみは近年多く取り上げられていますが、海まで流れていくのに川を通ります。その川にもよく見ると、残念ですがごみが落ちています。もっと多くの方に身近に感じて頂くような活動をし、自分さえではく自分がやらないといけないという意識に変化していけば、川はもちろん海もきれいになってくると思います。LOVE BLUE 助成を通じて活動の幅だけでなく、他の団体とつながることが出来ました。本当にありがとうございました！

### 一般社団法人ふくおか FUN LOVE BLUE 助成に海を守る活動を 支えていただきました。

大神弘太朗さん：LOVE BLUE 助成を受けて海を守る活動を支えていただき、本当にありがとうございます。何より、釣り人の皆様には感謝しかありません。活動の幅が広がり、人のつながりも大きく出来たことは皆様のお陰です。今後も私たちはより良い海にしていくための活動に挑戦していきます！



右: 全国川ごみネットワーク 事務局 伊藤浩子さん

左: 一般社団法人ふくおか FUN 代表 大神弘太朗さん

# 地球環境基金企業協働プロジェクト LOVE BLUE助成 LOVE BLUE助成2019年度採択団体 日々の活動

## 東京都

### 全国川ごみネットワーク

#### 水辺のごみ削減学習プログラムの構築と実践

水辺のごみ拾いが環境学習となるようなプログラムの普及に向けて、試行的なごみ拾いを小学校、市民団体などに協力いただきながら4回実践しました。その内容をとりまとめ、整理し、環境学習効果のあるごみ拾いをさらに広めたいと活動しています。



子どもたちには、今話題のマイクロプラスチックの話などをわかりやすく伝え、大人対象では、楽しくごみ拾いする中での気づきを重視するごみ拾い活動などを行っています。その中で、私たちの生活と川や海のごみは繋がっていることを感じてもらい、ごみを出さないような生活、しくみを推進しています。



川や海などの水辺のごみ問題とその対策について多くの人に知ってもらえるような普及啓発活動に力を入れたいと考えています。展示用パネルや資料などを充実させ、さらに多くの人に啓発をすすめ、ごみ対策を自分事として行動変容できる人を増やし、自然豊かな川を保ちたいと考えます。

座長 亀山 久雄さん

## 福岡県

### (一社) ふくおか FUN

#### 福岡の海における生物多様性及び水中環境保全のための活動

福岡の豊かな水中環境を次世代に繋ぐため、ダイバーが中心となり、子ども向け水中スノーケリング体験や、海を元気にする海草・アマモの植付け活動、授業・講演、福岡・博多湾の海底ごみ回収活動を行っています。今年度はダイバーと市民が一体となって、海中海岸同時クリーンアップを実施しました。



LOVE BLUE助成を受けたことにより、行政や漁業者、研究者、企業、地域といった多様な主体と連携しながら、福岡の海に関連する様々な取り組みを行っています。また、今年度は新たに、ダイバーが実際に海中のごみを回収する活動も始めることができました。



現在、全国各地で再生・造成の動きが広まっている「海を元気にする海草・アマモ」の全国サミットが福岡市で行われることが決定しています。ふくおかFUNとしては、一人でも多くの関係者及び市民を巻き込みながらこのサミットの成功に全力を注いでいきたいと考えています。

代表理事 大神 弘太朗さん

## 兵庫県

### NPO 神戸海さくら

#### 須磨海岸における地域住民および海岸利用者の参加型清掃活動とマナー意識向上による持続的な環境保全活動

私たちは、都市部に存在する希少な自然海岸である須磨海岸の環境保全と海岸利用者のマナー意識向上を目的として、「海岸清掃活動」や「ゴミステーション開設」、「環境セミナー開催」等を行っています。ゴミの分別収集を呼び掛け、海岸を利用する全ての人が自ら環境保全に向け協力できる“参加型の社会”を目指す仕組みの構築に取り組みました。



私たちボランティアがゴミステーションの管理やゴミの分別収集を呼び掛ける役割を担うことで、行政と協力し合い、須磨海岸来場者の長年の願いであったゴミ箱設置が実現しました。また、2019年4月には日本で3番目、西日本では初となる『国際環境認証ブルーフラッグ』を須磨海岸が取得し、美しく安全な海として世界に認められました。



海洋プラスチック問題が今、世界的な注目を浴びています。ひとたび海に流れたゴミは回収することが非常に困難となることから、水際でゴミの海への流入を防ぐ私たちの活動は、益々重要になってくると思います。産官学民の連携をより強化し、大都市における海洋環境保全のロールモデルとして、世界に発信できればと思います。

理事長 森口 智聰さん

## 東京都

### NPO 未来の荒川つくる会

#### 名勝・昇仙峡から甲府市を縦貫する荒川及び支流の河川清掃

毎月第1日曜日の早朝、約2時間荒川と支流の河川清掃を実施。毎回平均110人のボランティアが参加し、2トン車2台分相当のごみを回収している。清掃開始当初は粗大ごみが多くたが、現在はプラスチックや発泡スチロールごみ等が増えている。河川美化のみならず、海洋汚染防止にも貢献している。子供に川の大切さや楽しさを学んでもらう「子ども水辺楽校」も開催している。



河川に入る作業に胴長靴や長手袋などの装備が必要で、この購入や清掃場所の選定調査なども充実することができた。結果、清掃作業が広範囲で効果的に行えた。河川清掃が広く知られるとともに住民の河川美化意識の向上が見られる。清掃隊長が「やまなし環境財」から表彰されたほか、甲府市からも感謝状を頂いた。



河川清掃は、地味な活動だが着実に河川の美化は進んでいる。活動することが住民の美化意識向上につながっており、継続することが肝要。海洋汚染防止の観点からも活動の一層の拡大充実を図りたい。

会長 飯野 正久さん

## Voice

地球環境基金企業協働プロジェクト LOVE BLUE助成  
LOVE BLUE助成2019年度採択団体 日々の活動

## 熊本県

## 次世代のためにがんばろ会

八代海河川・浜辺の大そうじ大会と  
干潟保全に向けた青少年ワークショップ

小・中・高・地域住民が共に体験できる河川環境教育現場を確立し、八代海・河川保全の意識が高まった青少年をメインに、『青少年干潟環保全ワークショップ』を行い、八代海・干潟の生物多様性保全を目指す体験型活動。



「八代海河川・浜辺の大そうじ大会」は、台風のために延期したにも拘わらず、市内全高校の高校生・企業の参加者が約500人の参加で地域への刺激剤になり、市民の意識が予想以上の成果をもたらした。また、青少年WSと大型商業施設での発表会に高校生の多数参加があり、次年度参加表明が多く聞こえた。

マイクロプラスチックごみ調査やごみ拾い、干潟観察・野鳥観察、漁協連行事を青少年に体験させ、将来的には沿岸での『河川・浜辺のイベント』など青少年が主力となり、資源循環意識の向上、地域の不法投棄の減少、マイクロプラスチック問題が地域から世界への啓発活動の基盤となる。



代表 松浦 ゆかりさん

## 鹿児島県

## NPO

## くすの木自然館

鹿児島湾奥地域における  
湿地帯保全活動

私たちは、住民への生活環境に対する啓発の一環として、地域住民および行政と協働で、各4回の清掃活動及び活動後の啓発講座を実施します。清掃活動でゴミの量がどのように変化するかを調べるとともに、環境指標として生物調査を毎月行い、生物相の変化をモニタリングしています。また、その結果をフィードバックすると共に、適切な不法投棄対策を実施することを目的に、年2回の懇話会を実施します。



これまであまり行政の手が届き辛かったエリアの清掃活動を、幅広い利害関係者（ステークホルダー）を巻き込んでおこなうことで、湾奥湿地の保全活動に繋げられています。

また、年間通しての鹿児島湾奥の湿地帯の生物相を、より詳細に把握することができています。



専門研究員 小野田 剛さん

## 長崎県

## やったろう de 高島

珊瑚ツーリズムの  
完成形を目指して

長崎市高島海水浴場に生息する多様なサンゴの美しさを知ってもらう事で、環境保全に繋げる事を基本理念に「シュノーケリングピクニック」の体験メニューを提供。サンゴは他の生物の棲み処になるため、海洋生物の多様性にも貢献している。都道府県別体験者の1位は福岡県だが、関東7県の合計は2位の長崎県の体験者数に迫る。



LOVE BLUE助成を受けたことで…生息するサンゴの調査を専門家に依頼し実施。結果36種類のサンゴの生息が確認された。また活動の信用性が増したこと、2つの大学と4つの企業との連携構築が完了。その背景を受けて「サンゴ育成装置」の設置に到った。育成装置設置後は観察と計測を実施中。



サンゴ育成装置を活用して「環境保全から環境創造」をテーマにした活動。調査エリアを拡大したサンゴ生育調査。専門家を招聘した「海の環境講習」の実施。年間体験者1千人以上の全員を対象に、「1つのゴミ拾い運動」を展開し参加者には、活動に見合うサービス提供を行う。

会長 福村 学さん

## 福岡県

## 宗像フェスCSR推進実行委員会

日韓海洋プラスチックリサイクル  
環境学習事業

近年、福岡の海岸は大陸からの漂着ゴミが深刻化しており、海洋マイクロプラスチックの魚類への影響、産卵で砂浜にきたウミガメへの影響など深刻化しています。

その問題へ海洋を挟んで、排出する側の韓国と漂着する側の日本で共に学び、環境問題に国境を越えて若い世代から考えるきっかけとします。



LOVE BLUEの助成のおかげで、これまで以上に規模が大きくなり参加人数を多く受け入れる事ができました。日韓相互でリアルタイムに事業を行うなど話題性も高く、韓国のKBS放送にも取り上げられました。また、環境省発行の「令和元年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」にも掲載されるなど団体として大きく飛躍することができました。



実行委員長 浜田 修一さん

## 埼玉県

NPO

## ジョイライフさやま

## 環境保全の大切さを伝える自然体験・地域交流の創出

1. 水辺環境の樹林整備保全活動
2. 瀬で川底水生生物による水質を調べる活動
3. 地曳網による、川の生き物の生態系を調べる活動
4. カヤック体験による陸の景色を調べる活動このような活動を通して子供たちが水と触れ合うきっかけを作り川への関心を高める活動を展開しました。



代表 久保田 健三郎さん

助成により活動の幅が広がり、専門教授や講師、団体の支援が得られるようになり体験学習が行えました。水辺環境の維持保全を参加された市長、県議と話す場が出来、子供たちが安心安全に遊べる水辺環境に変えていく事の大切さを話すこと、継続した活動としていきます。すぐに評価を得ることは出来ませんが、継続していく事の大事さは感じています。

環境整備保全活動は景観維持による活動として行い、将来廻しのある景観として水辺空間を人々が訪れる公園にしていきたいと考えています。子供たちの川への関心度を探る体験を取り入れ体験を通した環境学習を増やし、そこを訪れる人たちが気持ちよく、ゴミのない場所と成るように活動します。

## 宮城県

## (公財)みやぎ環境とくらしネットワーク

## 宮城の浜の海洋ゴミを減らそうプロジェクト

宮城県の海岸で、海洋ゴミの組成調査や清掃活動を行う。その調査結果を元に、そのごみの排出を抑制することを目的にするセミナーを実施。県内でゴミ拾いを行っている団体を市民に紹介する。市民に関心を弊団体が主催する「海洋ごみを使ったワークショップ」で小物づくりの体験をしてもらう。



- ①定期的に清掃活動をして大きなごみは見られなくなった。参加者: 1051名
- ②セミナーやワークショップ、清掃活動、ブログの報告、講師派遣で講話をすることにより海洋ごみの原因の1つは川や海にごみを捨てるごみを市民が認識することができた。来場者: 977名



海洋ごみの3年間組成調査を行政へ報告し、改善点があれば政策提言を行う。

宮城県内の海岸でボランティアや学生、団体、自治体と連携する。

消費者がプラスチックごみを根本的に削減できるように、セミナー・見学会等で3Rの具体的な行動や購入行動できることになる。

## 山形県

NPO

## パートナーシップオフィス

## 大学生による海ごみ問題解決のためのクリーンアップとワークショップ事業

地元山形の大学生が地域課題（海ごみ問題）解決のための実践と議論の場をつくりました。2回のクリーンアップでは200袋以上の海ごみを回収、合わせて問題の解決方法や社会への発信方法を話し合うワークショップを共催しました。



LOVE BLUE 助成をいただいたことにより、定期的にクリーンアップとワークショップを開催する基盤ができました。大学祭や地元の産業・環境フェアなどのイベントにブース出展しPRする機会が増えました。

今後も定期的に学生が集い、議論する場を作つて行きます。現在は2~3大学からの参加者ですが、より多くの大学に活動の輪を広げていくことを目指します。



理事長 西村 修さん

## 石川県

NPO

## 能登半島おらっしゃの里山里海

## 能登の里海環境・文化の持続可能性構築

年間通しての地引き網による里海調査、市内小中学校と連携しての海岸清掃、秋の親子釣り大会、冬のお魚ワークショップ開催のほか、里海保全に関連する里山保全（植樹）活動も実施しています。また、地元の中高の児童・生徒への、里山・里海の環境学習の場の提供も行っています。



今年の助成金でミニ地引網を製作し、里海調査を始めました。毎年、里山学習で訪れていた中学校に提案し、地引網を使っての里海学習を初めて実施することができました。いっしょに海岸清掃をしてくれる小中学校も、今年は増えて5校になり、少しづつ活動成果が現れているように思います。



理事長 加藤 秀夫さん

「活動の持続性を高めていく」が基本方針です。H28~30年度助成で行った実践活動を踏まえて、「守る」をベースに、「知る」から「学ぶ」へと発展させ、さらに「楽しむ」を実感することで、里海文化の持続的な継承活動につなげていくことを目指しています。

## 専門機関と連携した放流事業 ～放流事業の全国展開～

2013年4月の事業開始より2017年度まで、専門機関と連携した放流事業として、公益財団法人神奈川県栽培漁業協会へ事業委託し、釣り人の皆様に喜んで頂けるよう、毎年マダイ稚魚を神奈川県側の東京湾へ20万尾（5年間累計100万尾）放流すると共に、漁獲・釣獲の面から放流効果調査も進めて参りました。

この公的栽培機関と連携した5年間の放流事業の実績から「一定の海域・資源量を基礎にした放流量の指針」を得るとともに、栽培養殖に関わる公共機関との信頼関係を醸成することができました。このような背景を基礎に、2018年度から、全国各地の公的栽培機関との連携・協力体制を構築しながら、一定の海域・資源量等を踏まえた、『釣り人の皆様に喜んで頂ける、釣りに利活用できる魚種』の放流を各地で進めて参りたいと考えました。

そのため、まずはこれまでの実績と信頼関係を基に、2017年度内に、栽培事業に関する中央団体である「公益社団法人全国豊かな海づくり推進協会」へLOVE BLUE事業へのご協力を依頼させて頂き、そして、2018年1月30日に開催された、第3回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会・平成29年度栽培漁業推進全国会議以降、毎年度、2019年は1月31日に、各都道府県の水産担当者や栽培機関の方々へ、LOVE BLUE放流事業へのご協力のお願いをさせて頂いています。

### 第5回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議 LOVE BLUE専門機関と連携した放流事業へご協力を依頼



釣り人の皆様からの净財を適正に事業推進する枠組み  
専門機関と連携した放流事業の全国展開  
～（公財）神奈川県栽培漁業協会との放流実績から～

栽培漁業協会中央団体  
公益社団法人 全国豊かな海づくり協会  
(旧) 全国栽培漁業協会

第5回海域栽培漁業推進協議会全国連絡会議  
令和元年度栽培漁業推進全国会議

都道府県水産担当者  
(栽培漁業)  
『栽培基本計画策定』

都道府県 栽培漁業協会  
『種苗生産施設』

各地での栽培魚種の中から、釣り人に喜ばれる魚種の放流

# ～教育機関との連携～

2019年9月6日（金）に秋田県男鹿市にて男鹿市北浦保育園の園児の皆さんに放流のお手伝いをしていただきました。



## 専門機関と連携した放流事業 ～各地の放流状況～

LOVE BLUE 事業が展開する「専門機関と連携した放流」事業は、2019年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

### 青森県 ヒラメ16万尾

9月19日、30日



### 山形県 クロダイ1.5万尾

9月25日、26日



## 2019年度 1府7県 6魚種 約60万尾

累計 7年間 約 198万尾

秋田県 マダイ2万尾 クロソイ2万尾  
ヒラメ3.6万尾

7月15日 9月6日



神奈川県 マダイ10万尾

7月30日



## 専門機関と連携した放流事業 ～各地の放流状況～

LOVE BLUE 事業が展開する「専門機関と連携した放流」事業は、2019年度も各地の専門機関と連携を行い実施致しました。

### 静岡県 マダイ3万尾

8月18日、21日、22日



### 大阪府 キジハタ1万尾

10月3日、4日 11月6日



## 2019年度 1府7県 6魚種 約60万尾

累計7年間 約198万尾

### 大分県 ヒラメ4.4万尾 イサキ5.6万尾

7月1日、2日 10月8日、9日



### 鹿児島県 マダイ10.9万尾

7月7日、10日



## 専門機関と連携した放流事業 ～放流事業にご協力頂いた皆様からの感謝の声～

大分県漁業協同組合  
別府地区漁業運営委員長  
**豊島 功さん**



釣りの関係者が取り組む放流は、漁業者にとっても大変有難い事です。

ここ何年か水揚げ量が低迷なので、この放流事業は大変嬉しいことです。組合を代表してお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。本日の作業には組合の青年部も協力させていただきます。ヒラメをこのような多くの量を放流することがあまりないのですが、数年後には水揚げ量は上がると確信しております。本当に有難いです。頭が上がりません。

このような放流事業を展開して頂けるのは大変助かります。感謝しかありません。



(公社)大分県漁業公社  
国東事業場 場長  
**元兼 豊明さん**



プラスαで生産することは栽培機関としては負荷はかかっていません。ただ、生き物なので、良い、悪いはありますし、生き物の生産なので数量についても限界もあります。今年は1年目なのでいろいろな対応を行ったのですが、プラスαの数が増えしていくと水槽などを増やさなければいけないということが出てきます。ただ、今は現状の施設で補えております。

栽培機関としては種苗生産が増えることは大変有難いことです。本当に感謝をしています。

3年間の事業ですが、しっかりと元気な種苗を生産していきます。



(公財)秋田県栽培漁業協会  
理事長(当時)

**中村 彰男さん**



当協会と放流種苗でつながりのある2つの遊漁団体（秋田県つり連合会、男鹿マリンクラブ）の理解と協力を得て、これまでの「マダイ稚魚放流式」や「海の日記念イベント親子クルージング」の行事に合わせ、「LOVE BLUE事業 専門機関と連携した放流事業」を実施できたことは、それぞれの遊漁団体が行ってきた行事を、釣り人に人気の男鹿半島というローカルな地域で、より魅力あるものに発展させることができたと感じております。どちらの団体も事業の実施スケールの大きさから、参加した児童・園児の喜びの体験に手応えを感じ、翌年度の実施を期待する言葉を頂いたところです。

横浜市みなとみらい地区で開催された釣りフェスティバル 2020inYOKOHAMAにおいて、LOVE BLUE事業放流式典が、臨港パーク「潮入の池」を会場に行われ、幼稚園児と関係者によってカサゴ稚魚が放流されたその光景は、奇しくも、当協会が行うことができた2つの遊漁団体行事の拡大版を感じたところであります。

遊漁船協会鹿児島本港区船だまり  
会長

**前平 正文さん**



我々も稚魚の放流は10年前から行ってきました。ただ、あまり多くの数では無かったので、この事業のお陰で、多くの稚魚を放流することが出来て、嬉しく思っています。

海を守るためにも、釣り人に喜んで頂くためにも継続して行うことが大事なのでとても助かっています。また、何かあればお手伝いさせて頂きます。宜しくお願い致します。



# 水産庁後援 内水面釣り場拡大事業(ワカサギ) ～2019年度は4団体を採択～

本事業は釣り場拡大のため、水産庁ご後援の下、国立研究開発法人水産研究・教育機構

中央水産研究所 内水面研究センターや、全国内水面漁業協同組合連合会から、LOVE BLUE 事業へご理解とご協力を頂きながら始まりました。3 年度目の 2019 年度からは新たに 4 団体、累計 13 団体へ支援することができました。

この事業は、ワカサギ卵供給にかかる初期設備（ふ化施設等）一式の物納支援という形で、各都道府県の水産試験場等の研究機関等と連携しながら推進していきます。

## 2019年度採択団体(4団体)

- 佐賀県「北山湖」北山湖環境保全及び安全対策会 2連孵化装置／自然産卵水槽
- 山形県「横河ダム」小国町漁業協同組合 サランロック／ゴムボート
- 山梨県「山中湖」山中湖漁業協同組合 親魚捕獲用定置網／自然産卵水槽
- 北海道「しのつ湖」新篠津村／2連孵化装置 自然産卵水槽



## ワカサギに学ぶ会



「第 24 回ワカサギに学ぶ会」へ参加し、本事業をご説明する機会をいただきました。(参加 3 年度目)



# ～2019年度までに 採択団体へ寄贈されたワカサギ増殖施設～

LOVE BLUE 事業では、誰でも手軽に釣りを楽しめて、美味しく食べられるワカサギの釣り場を各地へ増やす為、水産庁後援事業として、各地の専門機関や漁業協同組合と連携し、ワカサギ増殖施設を寄贈しています。

**3年間累計 13団体**

## 2017年度採択団体(2団体)

- 群馬県「鳴沢湖」群馬県水産試験場 自然産卵水槽
- 長野県「美鈴湖」「小花見池」長野県水産試験場 ソーラー式可搬型孵化器



## 2018年度採択団体(7団体)

- 埼玉県「名栗湖」入間漁業協同組合 4連孵化器装置
- 兵庫県「音水湖」揖保川漁業協同組合 4連孵化器装置
- 群馬県「梅田湖」両毛漁業協同組合 ソーラー式可搬型孵化器／自然産卵水槽



## 2018年度採択団体(7団体)

- 千葉県「高滝湖」養老川漁業協同組合 親魚捕獲用定置網
- 島根県「さくらおろち湖」さくらおろち湖ワカサギ育成活動推進協議会 4連孵化装置
- 茨城県「霞ヶ浦」霞ヶ浦漁業協同組合 自然産卵水槽
- 山梨県「河口湖」河口湖漁業協同組合 親魚捕獲用定置網



## 群馬県高崎市長表敬訪問 ワカサギ卵孵化施設整備支援への感謝状授与式

2018年3月28日(水) 高崎市役所

LOVE BLUE 事業は、社会貢献事業として実施する水産庁後援、内水面釣り場拡大事業「ワカサギ」について、2018年3月28日、群馬県高崎市 富岡賢治 市長へ、同市鳴沢湖公営釣り場にワカサギ卵孵化施設一式設置のご報告及び御礼のご挨拶に、当工業会 大村一仁 副会長、小島忠雄 委員長、小松智昭 専務理事、柿沼清英 理事らが表敬訪問を行い、富岡市長より感謝状が授与されました。富岡賢治 高崎市長より、「ワカサギ釣りは地元高崎市にとっても大きな収入源の一つとなっております。地域経済の発展なども含めて、本当にありがとうございます。」と感謝のお言葉をいただきました。



(左から：富岡賢治 市長、大村一仁 副会長、小島忠雄 委員長)

## II



# (公財) 日本釣振興会 2019年度事業報告

- ・水中清掃事業
- ・放流事業
- ・マナー看板設置事業
- ・産卵床 魚道設置
- ・防波堤開放 釣り人拡大

# 水中清掃事業 2019年



日本釣振興会で実施している水中清掃は 2019 年で 14 年目となりました。14 年間でボランティアダイバー 9,627 名、陸上・船手伝い 9,588 名に参加して頂き 533 回の清掃を実施し、189 トンのゴミを回収いたしました。水中清掃を始めた目的は、釣り人が落とした釣具を回収することでしたが、釣具は重量的には全体の 2% 程度で、残りは投棄されたゴミでした。ただ釣具は数量的に多く水中では分解しないものばかりですので、釣り人には釣具を水中に残さないような釣り方や配慮が求められています。

2019 年は全体で 33 回の水中清掃を実施しましたが、LOVE BLUE 事業からの受託事業としての水中清掃は 15 回でした。

毎年多くの方の協力を得て実施している水中清掃ですが、2019 年も海をつくる会、(一社) ブルーエコ協議会、(一社) 日本レジャーダイビング協会、地元行政、漁業協同組合、ダイビング関係者、釣り関係者、NPO 法人、各種団体 945 名の方に協力して頂き、合計 8.8 トンのゴミを回収いたしました。



2019年4月13日

## 静岡県宇久須港

参加人数 22名



釣り場となっているためコマセカゴ、エギ等少数の釣り具が回収された。他にはタイヤ、漁網、鉄片、塩ビパイプ、ロープ等の投棄ゴミ。

2019年5月11日

## 千葉県浜行川漁港

参加人数 23名



昨年に引き続き 2 回目の清掃。ここも釣り場として利用されているためサオ、サオ片、サオ掛け、オモリ、コマセカゴ、コマセヒシャク等が回収された。

2019年5月11日

## 大阪府樽井漁港

参加人数 31名



当港には海上釣り堀があり、ほとんどの釣り人は海上釣り堀目当てのためか、釣り堀以外の場所からの釣具は少なかった。タイヤ、ドラム缶、バッテリー、バイク、ゴムホース、ゴルフクラブ、鉄棒等投棄ゴミが多く計 350 キロにもなった。

2019年5月22日

兵庫県別府港

参加人数 21名



兵庫県支部が昨年稚魚放流をした場所。港の半分ほどを清掃したが、フェンスがあり車が横付けできない為か、大きな投棄ゴミはなかった。

2019年6月9日

和歌山県串本港

参加人数 26名



今年の清掃場所は 4 年前にも清掃を行っているが、今回も多数のビン、カンが、タイヤ、バッテリー、掃除機、陶器片、食品トレイ、ホース等投棄ゴミ 750 キロが回収された。

2019年7月21日

和歌山県動鳴氣漁港

参加人数 36名



釣り人が良く利用している場所だが、釣り具は少なく投棄ゴミ 530 キロが回収された。

2019年8月17日

## 鳴尾浜臨海公園

参加人数 25名



海づり広場ということで、当時は200人近い釣り人が来ていた。釣り場のためサオ、リール、コマセカゴ、エギ、タコジグ、オモリ等釣具が回収された。直前に来た台風10号で流失したフェンスや鉄製ゴミ箱を回収したため250キロとなった。

2019年8月24日

## 新潟県直江津港海釣施設

参加人数 24名



初めて清掃を行う場所。一昨年の台風で水中に落下した施設の設備や、少数の釣り具を回収した。年間3万人近くの釣り人が入場する管理釣り場だが、釣り具は思ったより少なかった。ただ、一昨年の台風で流失した鉄パイプ類が多く回収され250キロとなった。

2019年8月31日

## 山梨県河口湖

参加人数 37名



河口湖町、河口湖漁協、地元NPOアウトドアミュージアム等からお手伝いに参加していただきワームを中心回収しました。バスブームの時の古いワームがいまだに見つかります。ワーム以外にはゴルフボール、タイヤ、鉄骨、ボートアンカー等が回収されました。

2019年9月14日

群馬県榛名湖

参加人数 24名



少數のワームが回収されたが、鉄階段、タイヤ 41 本等重量物が多く 480 キロとなった。

2019年9月19日

神奈川県小田原漁港

参加人数 15名



平日でも釣り人が絶えない場所で、毎年多数のエギ、テンビンオモリ、ルアー等の釣り具が回収されている。他にはカン 225 個、塩ビパイプ、ボート片、漁網片等が回収された。

2019年9月28日

京都府竜宮浜漁港

参加人数 27名



昨年は台風と西日本豪雨の影響でゴミが多かったが、今年は台風の影響もなくゴミは昨年の半分以下だった。

2019年10月2日

## 山梨県精進湖

参加人数 49名



精進湖漁業協同組合と、精進湖をホームグラウンドとしている日本へら鮒釣研究会のメンバーに毎年応援をお願いしています。釣具では少数のルアー、ワーム、それにビン、カン、車の部品等が回収された。清掃作業中、湖底に沈んでいる車2台を発見。後に1台は行方不明者の車と判明しました。

2019年11月6日

## 兵庫県平磯海づり公園

参加人数 26名



海づり公園のため、多数のサビキカゴ、エギ、オモリが回収された。他には鉄製階段足場、ロープ等も回収された。

2019年11月23日

## 神奈川県三崎漁港

参加人数 33名



護岸工事が終了したので3年ぶりに清掃をおこなった。釣具では少数のサオ掛け、テンビンオモリ、コマセカゴ、エギ等が見つかったが、漁船が使用する太いロープやタイヤ、ベッド等重量のあるものが回収され395キロとなった。

回数	実施日	実施場所		参加人数			回収ゴミ
		県名	場所名	ダイバー	陸上・船	合計	重量(kg)
1	4月 13日	静 岡 県	宇久須港	15	7	22	125
2	5月 11日	千 葉 県	浜行川港	15	8	23	88
3	5月 11日	大 阪 府	樽井漁港	12	19	31	350
4	5月 22日	兵 庫 県	別府港	8	13	21	160
5	6月 9日	和 歌 山 県	串本港	11	15	26	750
6	7月 21日	和 歌 山 県	動鳴気漁港	24	12	36	530
7	8月 17日	兵 庫 県	鳴尾浜臨海公園	12	13	25	250
8	8月 24日	新 潟 県	直江津港海釣施設	19	5	24	200
9	8月 31日	山 梨 県	河口湖	28	9	37	170
10	9月 14日	群 馬 県	榛名湖	18	6	24	480
11	9月 19日	神 奈 川 県	小田原漁港	9	6	15	120
12	9月 28日	京 都 府	竜宮浜漁港	14	13	27	220
13	10月 2日	山 梨 県	精進湖	15	34	49	90
14	11月 6日	兵 庫 県	平磯海づり公園	11	15	26	100
15	11月 23日	神 奈 川 県	三崎漁港	18	15	33	395
		合 計		229	190	419	4,028

**2府9県15回実施 419人参加**



# 放流事業 2019年

つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業の資金を使用した放流は 2019 年で 5 年目となりました。

放流は基本的に地元の小売店、釣り人に協力をしてもらっておりますので、LOVE BLUE 事業についての理解をして頂くいい機会になっていると思います。

愛知県落合池



ヘラブナ

愛媛県松山市沖

カサゴ



茨城県大津港沖



メバル

岐阜県片知川

ヤマメ



宮城県仙台灣



マダイ

高知県室戸岬港

カサゴ



埼玉県ビン沼川



ヘラブナ

埼玉県明秋釜虎

ヘラブナ





千葉県印旛沼



ヘラブナ

大分県別府国際観光港

ヒラメ



長崎県九十九島



カサゴ

東京都東京湾

カサゴ



東京都水元公園



ギンブナ

徳島県椿泊港

カサゴ



徳島県牟岐島



グレ

栃木県鬼怒川他

ヤマメ



奈良県室生ダム



ヘラブナ

福岡県大里港

カサゴ



## 兵庫県尼崎市等

## マコガレイ



## 和歌山県有田市

## ヒラメ



**555.3kg 815万8,000粒,  
184,097 尾放流実施**

県名	放流場所	実施日	魚種	尾数・kg ・粒
北海道	石狩川支流愛別川	11月23日	ニジマス	115kg
宮城	仙台湾 塩釜（松島）	9月4日	マダイ	6,700 尾
茨城	北茨城大津港沖	9月17日	メバル	3,800 尾
栃木	鬼怒川・那珂川・荒川・田川・渡良瀬川・秋山川・大谷川	11月10日	ヤマメ発眼卵	158,000 粒
群馬	渡良瀬川支流	9月21日	ヤマメ親魚	13 尾
埼玉		4月～5月		
	名栗湖・浦山ダム・合角ダム・間瀬湖・神流川・油井ヶ島・川田谷沼	9月27日	ワカサギ発眼卵	800 万粒
	北本総合公園池	1月19日	ギンブナ	75kg
	びん沼川	1月19日	ヘラブナ	1,100kg
	鴻巣市明秋・金虎	10月20日	ヘラブナ	415kg
	北本総合公園池	11月23日	ヘラブナ	100kg
	桶川市川田谷沼	11月23日	ヘラブナ	253kg
	鴻巣市明秋・金虎	11月23日	ヘラブナ	350kg
	加須市油井ヶ島沼	11月23日	ヘラブナ	116kg
	越谷市 逆川	11月23日	ヘラブナ	116kg
千葉	いすみ市大原漁	7月10日	ヒラメ	5,000 尾
	港勝浦港	9月24日	イサキ	3,700 尾
	印旛沼 黒部川	11月9日	ヘラブナ	176kg
東京	東京湾 若洲沖	9月3日	カサゴ	3,400 尾
	水元公園	9月27日	ギンブナ	75kg
神奈川	横須賀市海辺つり公園お酔い新安浦港	7月21日	メバル	5,000 尾
	横須賀市長井漁港及び荒崎なんやの浜	10月6日	カサゴ	5,000 尾
新潟	直江津港	7月11日	ヒラメ	5,000 尾
石川	かほく市・小松氏・珠洲市	9月3日	クロダイ	19,000 尾
山梨	笛吹川水系	10月3日	アマゴ親魚	600 尾
	千代田湖	10月6日	ヘラブナ	482kg
岐阜	長良川中央管内 千疋大橋	5月27日	アユ	5,000 尾
	長良川中央管区内支流	2月18日	アマゴ	60kg
	本巣軍根尾川	3月4日	アマゴ	55kg
	坂取川上流漁協管内 本流	3月10日	アマゴ	60kg
	大垣市 捨斐川	11月17日	サツキマス	650 尾

県名	放流場所	実施日	魚種	尾数・kg ・粒
静岡		6月21日		
	伊東港	7月4日	メバル	7,200 尾
	沼津港	8月18日・ 21日・22日	ヒラメ	3,300 尾
	清水港・浜名湖新居浜・沼津港		マダイ	30,000 尾
愛知	蓬池・東山山麓リバーパーク釣り池・ ほら貝池・水広下池	10月24日	ヘラブナ	747kg
三重	鳥羽市国崎沖	7月27日	ヒラメ	3,000 尾
	鳥羽市国崎港	1月14日	ヒラメ	2,300 尾
	大内山川	10月8日	アマゴ	50kg
	尾鷲市尾鷲港	10月20日	ヒラメ	2,000 尾
滋賀	守山釣り桟橋・貴川内湖・ 近江舞子内湖	11月5日	ヘラブナ	900kg
京都	舞鶴湾一帯	8月9日	クロダイ	9,600 尾
兵庫	尼崎市・神戸市・加古川市	6月5日	マコガレイ	6,600 尾
奈良	室生ダム	12月2日	ヘラブナ	250kg
和歌山	和歌山市・有田市	7月9日	ヒラメ	4,000 尾
	和歌山市	7月23日	ヒラメ	1,120 尾
	御坊市・由良市	8月20日	クロダイ	9,700 尾
山口	下関市吉見本町 吉見漁協前	10月9日	キジハタ	2,400 尾
徳島	椿泊港・和田赤石ふ頭	5月26日	カサゴ	1,323 尾
	牟岐町牟岐大島	7月14日	メジナ	1,600 尾
香川	高松市 G 地区	6月5日	カサゴ	3,062 尾
	高松市沖	7月4日	ヒラメ	5,300 尾
愛媛	松山市高浜町黒岩・ 興居島黒崎	6月5日	カサゴ	2,679 尾
高知		5月20日	カサゴ	1,600 尾
	吉川漁港・大山・室戸岬港		イサキ	2,851 尾
福岡			カサゴ	3,500 尾
	北九州市門司区 大里	10月19日	マダイ	3,500 尾
佐賀	伊万里市山代町浦ノ崎	10月14日	カサゴ	6,800 尾
長崎	九十九島 パールシーリゾート	9月8日	カサゴ	4,200 尾
大分	別府国際観光港	5月20日		
	中津市中津港	6月30日	ヒラメ	1,500 尾
鹿児島	錦絵湾 重富沖・鴨池沖・ 桜島沖・黒神沖	9月24日	カワハギ	5,600 尾

# マナー看板設置事業 2019年

2府4県に22枚設置

2019年も各地でマナーの向上を呼び掛ける看板の設置を行いました。

県名	場所	設置月	設置枚数
1 和歌山県	扶養漁港・目良漁港	2019年9月	4
2 佐賀県	伊万里港	2019年8月	1
3 広島県	デポルトピア	2019年7月	1 (看板作成のみ。設置は含まず)
4 大阪府	大阪港	2019年11月	10
5 京都府	京都府伊根町	2019年3月	4
6 静岡県	小田原港	2019年3月	2
	合計		22枚



和歌山県芳養漁港



佐賀県伊万里港



和歌山県目良漁港



広島港デポルトピア





大阪港コスマスクエア海浜緑地 1



大阪港鶴浜緑地 1



大阪港鶴浜緑地 1



静岡県小田原漁港

## 京都府伊根町



大西駐車場



七面山駐車場



新井崎漁協



蒲入漁港

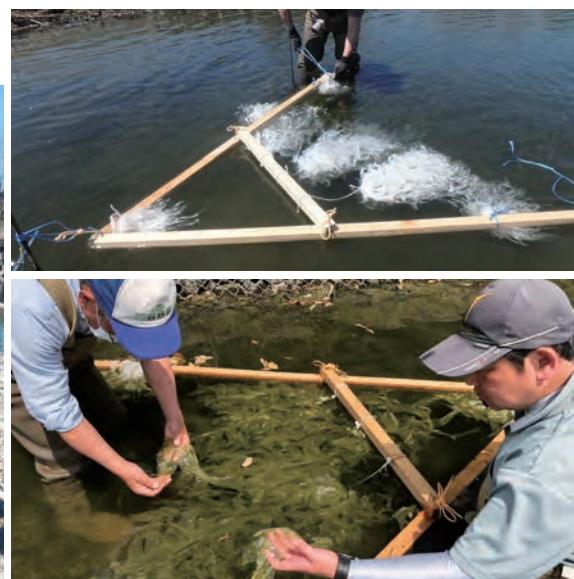
# 産卵床・魚道設置 2019年

海水温の上昇やアイゴの食害等いろいろな原因でアオリイカが散乱する海藻が減っています。アオリイカ釣りは人気のある釣りですので、少しでもアオリイカを増やすために平成25年からボランティアダイバーの協力を得て、アオリイカの産卵床の設置を行っています。

コイはコイヘルペスのため放流ができない状態が続いています。そこで自然産卵を促してコイを増やすために平成29年よりコイの産卵床の設置を始めました。

魚道については日大の安田教授の協力を得て、アユが遡上しやすくなる簡易魚道の設置を始めました。わずかな段差でもアユが遡上できないところに簡易魚道を設置することで、多数のアユの遡上が確認されています。

## コイの産卵床設置



埼玉県入間川

## ウグイの産卵床設置



埼玉県霞川

## アオリイカの産卵床設置



三重県五力所湾



和歌山県串本沖



静岡県八幡野沖



和歌山県田ノ浦ビーチ



神奈川県岩港



三重県尾鷲港

## アユ魚道の整備



京都府賀茂川 丸太町魚道



京都府賀茂川 荒神橋

	県名	設置場所	実施日	対象
産卵床	三重県	五力所湾 尾鷲港	4月9日 6月10日	アオリイカ アオリイカ
	和歌山県	串本沖	4月12日	アオリイカ
	静岡県	田ノ浦ビーチ	5月21日	アオリイカ
	神奈川県	八幡野沖	5月19日	アオリイカ
	埼玉県	岩港沖	5月27日	アオリイカ
		入間川 霞川	4月16日 6月14日	コイ ウグイ
魚道	京都府 賀茂川	丸太町落差工右岸 荒神橋口落差工右岸	3月16日 3月17日	アユ アユ

合計 10ヶ所

## 防波堤開放・釣り人拡大 2019年

### 1. 小学校釣りキャラバン

小学校の授業に水辺の安全教育を組み込んでもらい、同時に救命具の正しい着用の仕方、ラインの結び方、ルアーの投げ方等を学んでもらうもので、2019年は6校で実施し約500名の小学生に体験をしてもらいました。



### 2. 大阪市への救命浮環とロープの寄贈

大阪港では多くの場所が立入禁止となっていますが、立入禁止が解除されている釣り場もあります。釣り人の安全確保のためにここに設置してある救命浮環と縄梯子の一部が、2018年9月の台風21号により流失してしまいました。この釣り場を引き続き安全に利用できるようにするために、2019年8月救命浮環100個、縄梯子100台を大阪市に寄贈、これに対して大阪市長から感謝状を頂きました。



### 3. 遊歩道へのトイレの設置

行政への働きかけにより、北九州市若松響灘運河に釣り遊歩道が設置されました。ここは釣りもできるようになっていますので、簡易トイレを寄贈しました。



# 未来へ残したい美しい地球の つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業

**ア**

(株)アイビック  
(有)アイビーライン  
アキレス(株)  
(有)アクティブ  
アサヒレジャー(株)  
アチック  
(株)ア・ネットコトブキヤ  
(株)アピア  
(株)アムズデザイン  
(有)アリゲーター技研  
(株)アングラーズ  
アングラーズサポートシステム(株)  
アングラーズデザイン(株)  
(有)アングル  
(株)イシグロ  
五十鈴工業(株)  
(株)issei  
INFINITE SEEDS MAKERS(株)  
ING.CO.,  
ヴァンフック(株)  
(株)ウイング  
植田漁具(株)  
(株)ウォーターハウス  
(有)ウォーターランド  
(株)魚矢  
(株)宇崎日新  
ウチダトレーディング・モリックスジャパン  
(株)エイチ・エー・エル  
(株)エイテック  
(株)ESTATE  
NPO法人ジャパンゲームフィッシュ協会  
(株)エバーグリーンインターナショナル  
エフ・ケイ  
(有)エムワントレーディング  
(有)オー・エス・ビー  
OSGS  
(株)オーナーばり  
(株)オーパデザイン  
(株)オオモリ  
(有)オジーズ  
(株)小野由  
(株)オフィスアクセル  
(有)オフィス・ユーカリ  
(株)オリムピック

**オ**

(株)オンスタッブル  
オーシャンフリークス(株)  
**カ**

(株)鶴祥  
影山産業(株)  
(株)カズマーク  
(株)カツイチ  
(有)加藤精工  
カハラジャパン(株)  
(有)カビィ  
(株)がまかつ  
(有)カラーズインターナショナル  
(株)川せみ針  
(有)ガンクラフト  
(有)関門工業  
(株)キサカ  
(株)キザクラ  
(株)KILLER HEAT  
クオリティライフ  
(株)クリーブラツツ  
(株)Grayhound  
クレハ合纖(株)  
(株)クロノコーポレーション  
グローブライド(株)  
(株)KIOB  
(株)ケイテック  
(株)ゲインコーポレーション  
(株)ケーター関東  
ゲーリーインターナショナル(株)  
ケンインターナショナル(株)  
(株)剛樹  
(株)ゴーセン  
(一社)KONI  
(株)コヒナタ  
**サ**

(有)財津釣具  
(有)サウスウインド  
栄通商(株)  
櫻井釣漁具(株)  
(株)ささめ針  
(株)ザップ  
(有)サニー商事  
サポートエンジニアリング フラ  
(株)34  
サンヨーナイロン(株)

**シ**

(株)サンライン  
THWE OWL GENE LURE'S  
(株)ジークラック  
(株)シーフロアコントロール  
(株)シマノ  
(株)下田漁具  
(株)ジャクソン  
(株)ジャッカル  
(株)ジャンプライズ  
(株)清水  
(株)上州屋  
(株)スーパー・ビー  
Skillful  
(株)スズミエンタープライズ  
スタジオディーピーアイ(株)  
スティールハント  
(株)スナガ  
(株)スポーツライフプラネット  
(株)スミス  
征興産業(株)  
(株)清光商店  
(株)ゼニス  
(株)ゼファーポート  
(株)双進  
**タ**

第一精工(株)  
大同(株)  
大同石油(株)  
ダイトウブク(株)  
太陽産業(株)  
(株)ダイレイ  
タカ産業(株)  
高階救命器具(株)  
(株)タカタ  
(株)タカミヤ  
(株)タックルハウス  
(株)達人  
谷山商事(株)  
(株)ダミキジャパン  
ダブリエ・コミュニケーションズ(株)  
(株)ダン  
痴虫  
中央漁具(株)  
(株)津田商会  
(株)ツネミ

# ために 今 私たちは行動します

260社・団体参加(2020年3月31日現在 50音順)

つりー(株)  
(株)釣研  
(株)DRT  
D-CLAW  
(株)DSTYLE  
(株)ディーパース・ファクトリー  
TICA JAPAN(株)  
(株)ティムコ  
(株)テクノス  
(株)デプス  
(株)デュオ  
(株)天龍  
(株)土肥富  
(株)トアルソン  
東邦産業(株)  
(株)トゥームストーン  
(有)トオヤ  
(株)TRYALL  
東レ・モノフィラメント(株)  
DRANCKRAZY(株)  
DreemUp  
**ナ**  
(株)内外出版社  
(株)ナカジマ  
ニッコー化成(株)  
(株)NOIKE  
**ハ**  
(株)ハイテックボート  
ハイドアップ(有)  
バスディ(株)  
(株)バスディジャパン  
(株)パームス  
(株)林釣漁具製作所  
(株)ハヤブサ  
はり秀(株)  
(株)ハリミツ  
(有)HMKL  
HAND MADE LURE HIRO  
(株)ビーエムオージャパン  
ビジュアライズイメージ(株)  
ヒットコンポジット(株)  
ピュア・フィッシング・ジャパン(株)  
(有)ヒロカコーポレーション  
兵庫通商(株)  
FIELD BACK

Fishman(株)アレア  
プエブロ(株)  
フィッシュ・アンド・ハート(株)  
(株)フォレスト  
FOLLOW  
富士工業(株)  
富士灯器(株)  
(株)フジノライン  
(株)フジワラ  
(株)藤原辰次商店  
(株)ブリーデン  
フルシロプロダクトデザイン  
ブルーブルー(株)  
(株)ブレイズアイ  
プロズワン  
(株)プロックス  
ベイトブレス  
Bevel  
(株)ベルモント  
(株)北摂マリン  
BOREAS  
Bottomup(株)  
(株)ボンバダアグア  
**マ**  
(株)マガジン・マガジン  
マルキュー(株)  
丸米商事(株)  
(株)マルシン漁具  
(株)まるふじ  
MARUTE  
mibro  
(株)ミヤマエ  
(株)ムカイフィッシング  
(株)名光通信社  
明邦化学工業(株)  
(有)メガテック  
メガバス(株)  
メジャークラフト(株)  
(株)目探  
(株)モーリス  
(株)もりげん  
moriken speed bite  
**ヤ**  
(株)ヤマイ

山田電器工業(株)  
山豊テグス(株)  
山本光学(株)  
(株)ヤマリア  
(株)ヤリエ  
ユニチカ(株)  
(有)よつあみ  
**ラ**  
(株)ラインシステム  
(有)ラガチャイナ  
落花生  
(株)ラッキークラフト  
Rattytwister  
ラパラ・ジャパン(株)  
REALS  
(株)リガーレ  
(株)リコーサーバンス  
(株)リチャーズ  
リトルジャック(株)  
(有)リトルプレゼンツ  
(株)リプレイ  
リミット  
ルアーショップ アンドウ  
LURESHOP riprap  
(株)ルミカ  
+Room's  
RAID JAPAN(株)  
lire angle HAMA  
(株)レイン  
LEGAME  
レジットデザイン(株)  
LESS is MORE  
(有)ロデオクラフト  
**ワ**  
WILDFINS  
(株)脇漁具製作所  
(株)和田製作所  
(株)ワトスファクトリー  
(株)ワールドスポーツ

# 2019年度事業収支報告書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額
<b>【収入の部】</b>		
(1) シール売上収入		
環境・美化シール販売収入	4,600,000	3,432,680
商標使用料収入	230,000,000	243,454,432
シール売上収入等計	234,600,000	246,887,112
(2) 環境保全協力金収入 (会計間振替)		
釣竿を除く商品×2/10000	15,200,000	14,952,015
釣竿×2/10000	4,500,000	3,954,732
(2) 環境協力金収入	500,000	0
環境保全協力金収入等計	20,200,000	18,906,747
収入合計	254,800,000	265,793,859
<b>【支出の部】</b>		
I 事業活動費支出		
(1) 水中清掃事業費支出		
水中清掃業務費支出 (プロダイバー)	85,000,000	84,999,997
水中清掃業務委託費支出 (日釣振)	5,000,000	5,787,630
水中清掃事業費支出計	90,000,000	90,787,627
(2) 陸上清掃事業費支出		
陸上清掃事業費支出 (LOVE BLUE 助成)	15,000,000	15,000,000
陸上清掃事業費支出計	15,000,000	15,000,000
(3) 放流事業費支出		
放流事業費支出	60,000,000	43,528,568
放流業務委託費支出 (日釣振)	22,000,000	21,193,615
放流事業費支出計	82,000,000	64,722,183
(4) 釣り場拡大事業費支出		
釣り場拡大事業費支出	25,000,000	8,246,014
釣り場拡大事業費委託費支出	13,000,000	13,018,755
釣り場拡大事業費支出計	38,000,000	21,264,769
(5) 予備費支出		
予備費支出計	6,000,000	0
事業費支出計	231,000,000	191,774,579
事業費比率	90.7%	72.2%

科 目	予算額	決算額
(6) 運営経費支出		
LOVE BLUE 人件費支出	29,069,122	21,973,462
環境・美化シール印刷費支出	350,000	0
旅費交通費支出	7,000,000	4,006,464
通信運搬費支出	1,200,000	416,866
印刷製本資料作成費支出	3,500,000	2,380,257
宣伝費支出	20,000,000	19,002,004
租税公課支出	3,000,000	3,753,276
会議費支出	500,000	196,020
支払手数料支出	100,000	53,425
振込手数料支出	50,000	37,962
諸謝金支出	200,000	0
消耗品支出	300,000	15,861
雑費支出	150,000	170,500
法定福利費支出（科目追記）		2,706,422
運営経費支出計	65,419,122	54,712,519
事業活動費支出合計	296,419,122	246,487,098
事業費比率	116.3%	92.7%
事業活動収支差額	-41,619,122	19,306,761
II 振替経費支出		
振替人件費支出	1,372,631	1,454,558
その他一般管理費支出	2,002,380	2,404,753
F 会館維持管理費支出	115,520	135,734
法人税等	0	0
振替経費支出計	3,490,531	3,995,045
【投資活動収支の部】		
(1) 投資活動収入		
投資活動収入計	0	0
(2) 投資活動支出		
投資活動支出計	730,205	0
投資活動収支差額	-730,205	0
当期収支差額	-45,839,858	15,311,716
前期繰越収支差額	129,551,338	129,551,338
次期繰越収支差額	83,711,480	144,863,054

# 地球の恵みと LOVE BLUE 事業

現在、新型コロナウイルスが世界を席巻し、収束の見通しはまだ立っていません。その背景には、気候変動の影響や無秩序な開発による生態系の変化、そしてヒトと野生動物の距離が変化したことが要因であるとの指摘もあります。

各国はコロナ対策に全力を挙げていますが、その対策がある程度落ち着いた段階では、人々が安心して生活できる、持続可能で生態学的にも安定した、災害や疫病などにより抵抗力のある社会への移行が重要になります。

昨年6月に開催されたG20大阪サミットでは、海洋プラスチックごみ問題が主要テーマとなり、2050年までに新たな海洋プラスチックごみによる汚染をゼロにすることを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が採択されました。政府はもちろん、企業も個人もプラスチックごみ削減への具体的取組が求められています。

そのような状況のなかで、釣り界が一丸となって取り組む「つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業」は多くの釣り愛好者も巻き込んで、環境問題に取り組む具体的活動として今日では社会の各層からその意義が高く評価されています。釣りは地球の恵みを最大限に使い、自然に親しむスポーツです。しかし釣りが長く続けられるためには、水辺や海の環境と多様な魚類の維持、そして釣り場の環境改善が肝要です。「LOVE BLUE事業」は、釣り人への環境保全の意識の向上も図りながら、釣りにかかわる全ての人々が共通の思いをもって持続可能な釣り環境を構築するための社会貢献事業となっています。



京都大学名誉教授  
松下和夫

## 公式FACEBOOK・公式ホームページのご案内

公式FACEBOOKでは最新の情報(水中クリーンアップ活動等)を配信しています。

公式ホームページでは自治体や地元からの生の声や、詳細な活動報告を掲載しています。

ぜひご覧ください。



[FACEBOOK LOVEBLUE](#)

[LOVE BLUE  
FACEBOOK](#)



[LOVEBLUE](#)

[LOVE BLUE HP  
http://www.loveblue.jp/](#)



編集協力：公益財団法人日本釣振興会  
104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館3階  
TEL : 03-3555-3232 FAX : 03-5542-2941

編集・発行：一般社団法人日本釣用品工業会  
104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館5階  
TEL : 03-3555-0101 FAX : 03-5542-2929 E-mail : info-fev@jaftma.or.jp

